

第1回府中市学校施設老朽化対策推進協議会の開催結果

- 1 日 時 令和5年7月18日（火）午後1時15分～午後3時
- 2 場 所 府中市役所北庁舎第6委員会室
- 3 出席委員 13名（五十音順）
池澤龍三委員、田中稲子委員、田中友章委員、三輪律江委員、
成清敏治委員、森嶋正行委員、村野太郎委員、吉田佳子委員、
河井文委員、上村貴子委員、岡本啓子委員、堺美佐子委員、
高橋成忠委員
- 4 欠席委員 1名
筒井孝敏委員
- 5 出席職員 酒井教育長、矢ヶ崎教育部長、角倉学校施設課長、
遠藤学校施設課長補佐、崎井学校施設整備担当副主幹、
奥学務保健課課長補佐、七里学校施設課主査、林学校施設課主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 内 容
 - (1) 委嘱状交付
 - (2) 教育長挨拶
 - (3) 委員紹介
 - (4) 正副会長選出
 - (5) 諮問
 - (6) 議題
 - ア 会議の公開について（傍聴希望への対応及び会議録の公開）
 - イ 資料等の事前送付について
 - ウ 府中市学校施設改築・長寿命化改修計画について
 - エ 開催スケジュールについて
 - (7) その他
- 8 配布資料
 - 資料1 府中市学校施設老朽化対策推進協議会の設置等に関する規則
 - 資料2 府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員名簿
 - 資料3 府中市学校施設老朽化対策推進協議会の公開について（案）
 - 資料4 府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（本編）
 - 資料5 府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（概要版）
 - 資料6 学校施設の老朽化対策について
 - 資料7 府中市の学校施設整備に影響する最近の動向
 - 資料8 府中市学校施設老朽化対策推進協議会の今後の開催予定（案）

会議録

○事務局 皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただ今から「第1回府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を開催いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、また御暑い中、本日の会議にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。会議の開催に当たりまして、はじめに事務局からのお願いでございますが、議事録の作成をスムーズに行うために、会議の開催中は録音をさせていただきます。また、本日の第1回会議におきましては、広報用の写真も数枚撮影させていただきますので、併せてご了承をお願いいたします。

続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。皆様の机の右側には、上から、委員の皆様のお名前の入った委嘱状、席次表を配布しております。また、左側には、会議の次第のほか、

- 資料1として 府中市学校施設老朽化対策推進協議会規則
- 資料2 本協議会の委員名簿
- 資料3 本協議会の公開について（案）
- 資料4 府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（本編）
- 資料5として その概要版
- 資料6 学校施設の老朽化対策について
- 資料7 府中市の学校施設整備に影響する最近の動向
- 資料8 府中市学校施設老朽化対策推進協議会の今後の開催予定（案）

をお配りしております。資料につきましては資料1から8までお配りさせていただいております。資料の不足等はありませんでしょうか。もし会議が始まって不足に気づきましたら、事務局の方に手を挙げていただければ資料をお持ちしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

本来であれば、「資料1 府中市学校施設老朽化対策推進協議会の規則」の第4条でございますとおり、この協議会につきましては会長に議事を進行していただきますが、会長が決定されるまでの間、事務局で代わりに進行をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、申し訳ございませんが、着座にて進行させていただきます。

本日の会議につきましては、出席委員数が過半数に達していることから、有効に成立することをご報告させていただきます。

それでは始めに、次第1の「委嘱状交付」でございます。委嘱状につきましては本来であれば教育長から委員の皆様へ直接お渡しするところでございますが、時間

の関係もございますので、皆様の机の上に置かせていただいております。これをもちまして、委嘱状の交付に代えさせていただきますので、ご了承をお願いいたします。

続きまして、次第の2「教育長挨拶」に移らせていただきます。会議の開催に当たりまして、酒井教育長から皆様にご挨拶を申し上げます。

○酒井教育長 皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました府中市教育委員会教育長の酒井と申します。この度は委員の皆様おかれましては、府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員のご就任をご快諾いただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。また、本日はご多用の中、ご出席を賜り、重ねて感謝申し上げます。第1回目の会議の開催に当たりまして、私の方からご挨拶という形でちょっとだけお話をさせていただきたいと思っております。

府中市教育委員会では、令和4年度に第3次府中市学校教育プランを策定いたしました。社会を主体的に創造的によりよく生きる力の育成、そして学びの機会を保障するための施策の支援の充実、そして3番目といたしまして、子供の学びを支える教育環境の充実という3つの施策に取り組み、学校教育の更なる充実に努めているところでございます。

学校施設の老朽化への対応はこの内、学校、子供の学びを支える教育環境の充実位置付けて進めているところでございます。本市の学校施設の多くは、建ってから50年を超えておりまして、老朽化対策が喫緊の課題となっております。前回の協議会では、府中市学校施設改築長寿命化改修計画素案の作成に当たりまして、教育環境の充実を図るとともに、災害時の避難所など地域の拠点として求められる役割を整備しながら、学校施設の整備方針について基本的な考え方をまとめていただきました。改築を実現した府中第八小学校及び府中第一中学校の実績を踏まえて計画を見直し、残る学校施設の老朽化対策を進めていくことが児童生徒のよりよい教育環境を確保するために重要と考えております。

本協議会は、一年半に渡り審議をお願いすることになりますが、委員の皆様には、今後の教育環境づくりに向けて、それぞれの立場とさまざまな視点から忌憚のないご意見やご提案を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。私の挨拶と代えさせていただきます。これから長丁場になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局 酒井教育長、ありがとうございました。続きまして、次第の「3 委員紹介」でございます。本日配付いたしました「席次表」及び「資料2 府中市学校

施設老朽化対策推進協議会委員名簿」をご覧ください。恐れ入りますが、資料2の名簿順に、各委員から簡単に自己紹介をお願いいたします。

(各委員が順次、自己紹介)

○事務局 委員の皆様、ありがとうございました。ただいま、配布させていただいている資料2の14番の「高橋 成忠(たかはし しげただ)」さんのお名前が、資料上「たかはし なりただ」さんに誤って記載しておりました。大変申し訳ございませんでした。訂正の方よろしくをお願いいたします。なお、時間の関係もございませんので、事務局につきましては名前の紹介のみとさせていただきます。

教育部長の矢ヶ崎、学校施設課長の角倉、学校施設課学校施設整備担当副主幹の崎井、学校施設老朽化対策マネジメント担当主査の七里、老朽化対策マネジメント担当の林、学務保健課長補佐の奥です。

(事務局、自己紹介)

なお、申し遅れましたが、私は学校施設課長補佐の遠藤と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。また、本協議会から、本協議会の運営支援及び計画改定業務の受託業者であります、株式会社山下 PMC から、本日は池上、澤田、小竹の3名が本日の協議会に出席しておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

続きまして、次第の「4 正副会長選出」でございますが、「資料1 府中市学校施設老朽化対策推進協議会規則」の第3条では、委員の互選により定めることとなっておりますが、何か選出にあたって委員の皆様からご意見等はございますでしょうか。なお、大変申し訳ございませんが、今回の議事録作成に当たりまして、自動機能での議事録作成の方を行いたいと思っております、最初に発言される際にお名前をご発言いただいてからご意見をいただければと思っております。よろしくをお願いいたします。

○委員 先ほどですね、各委員の皆さんの方からご紹介、自己紹介がございましたけども、新しく設置される会議であるためですね、初対面の方々も多いかと存じますので、ここは事務局の方でお考えがあれば、ぜひご提案いただければと思っております。以上です。

○事務局 ありがとうございます。それでは事務局といたしましては、公共施設の建築や政策形成等に造詣の深い田中友章委員に会長を、また学校施設を含めました教育現場に精通しておられます森嶋委員に副会長をお願いしたら、と考えております。委員の皆様いかがでしょうか。

≪「異議なし」の声 拍手≫

ありがとうございます。それでは、ここで会長・副会長にご就任いただく両委員から、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。はじめに、田中友章会長、よろしくお願いいたします。

○会長 改めまして会長を仰せつかるということで重責を感じておりますが、これから約1年半位ですか、かなり取り組まなければいけないこともたくさんあると思いますので、是非皆さんと力を合わせて、建設的に色々幅広いご意見をいただければと思います。また、委員のそれぞれの立場とか、今までのご経験からいろいろな知見をいただけたらと思いますので、そういう意見もいただきながら取りまとめていきたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。私自身、今日、市役所に来る時に考えていたんですけど、多分最初に関わらせていただいたのは、都市景観審議会という審議会で、景観関係の事前協議等を色々とお手伝いして、もう20年以上になるかなと思います。私自身に関しては府中市の市民ではないのですが、もう20年以來通っているのので、この街に愛着も感じております。また、先ほどの教育長からの話がありましたが、前回の計画に基づいて早期着手校が2校供用開始しております。今回計画を見直すにあたってそこで成し得た事を皆様と一緒に評価しながらフィードバックができると思いますし、学校施設というのは地域の一つの核になるものですので、そういう観点からも色々ご意見いただいてまとめていければと思います。色々議事進行で至らぬところもあるかもしれませんが、ご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。続きまして、森嶋副会長、よろしくお願いいたします。

○委員 改めまして府中第五小学校の森嶋でございます。会長補佐、しっかり補佐をさせていただいて、子供達の居場所となる大切な学校施設ですので、また地域の核となる学校施設ですので、会長補佐としてしっかりやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。それでは、田中会長は会長席にお移りください。

また、森嶋副会長につきましては、席札のみの表示とさせていただきます。

《会長、座席移動。席札設置》

○事務局 続きまして、次第の「5 諮問」でございます。酒井教育長から田中会長に諮問書の伝達をさせていただきます。それでは酒井教育長、前にお願いたします。

○酒井教育長 次の事項について府中市学校施設老朽化対策推進協議会において協議し、答申して下さい。

1 諮問事項 府中市学校施設改築長寿命化改修計画改定素案の作成について

2 答申期限 令和6年9月30日

どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局 大変申し訳ございませんが、酒井教育長はこの後、他の公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

○事務局 委員の皆様には、諮問書の写しを配布させていただいております。

それでは、ここから先の進行につきましては、田中会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

○会長 それではこれから先は、私が議事を進行させていただきたいと思います。

今、酒井教育長が退席されたタイミングで、素晴らしいタイミングで三輪委員がいらっしやいましたので、ちょうど先ほど、全員の自己紹介をさせていただいたところですので、着いて早々で恐縮ですが、簡単に自己紹介していただいてもよろしいでしょうか。

(三輪委員自己紹介)

○会長 ありがとうございます。先ほどちょっと挨拶の時に言えばよかったんですけども、今回の審議会は完全なジェンダーバランスで、素晴らしいなと思いました。特に学識の先生は皆さまお忙しい方が本当に多いので、このような形で本市の審議会に力を注いでいただだけ、大変、会長としては有難いと思っていますところ。それでは議事の方に入らせていただきたいと思います。議題の「(1) 会議の公開について」ということで事務局から説明をお願いします。

○事務局 はい。それではご説明いたします。恐れ入りますが、資料の「3 府中市学校施設老朽化対策推進協議会の公開について(案)」をご覧ください。

はじめに、「1 会議の公開」でございますが、本市ではこの学校施設老朽化対策推進協議会を含む附属機関等の会議につきましては、府中市情報公開条例により原則公開するものと定めております。本会議につきましても、資料に記載の例外規定には該当しないことから、この原則を遵守することとしたいと考えております。

続きまして、「2 傍聴希望への対応」でございますが、記載のとおり4点ござ

いまして、1点目は「会議の開催に当たりましては、広報紙及び市ホームページで会議日程及び傍聴について掲載する」、2点目は「傍聴人数は5人以内を定員とし、前日までの申込みを原則とする」、3点目は「傍聴者は傍聴者名簿に必要事項を記入し、裏面の傍聴についての諸注意を確認した上で、指定された場所で傍聴していただく」、4点目は「資料が膨大な場合を除き、当日の会議資料は傍聴者にも原則として配布する」運用にしたいと思っております。なお、本日の会議につきましては、この公開の取扱いが決定していなかったため、開催の告知はいたしませんでしたが、次回からは事前に傍聴の募集も含めて告知したいと存じます。

最後に、「3 会議録の公開」でございますが、「会議ごとに会議録を作成し、委員の皆様が内容を確認した後に、市役所市政情報公開室、中央図書館、白糸台図書館、西府図書館及び市ホームページで一般の閲覧に供する」形で公開したいと考えております。なお、委員の皆様には、次の会議の開催前に会議録の（案）を送付してご確認いただき、次の会議の冒頭で修正の有無を確認し、確定したいと存じます。なお、会議録の内容につきまして、決定していただきたい点が1点ございます。会議録の中で発言者のお名前を明記するか否かにつきましては、各附属機関に運用が委ねられております。議論の過程を明確にするという観点から委員名を明記するという考えもございますし、活発な議論が抑制されないように“委員”という表記に統一する手法もございますので、ご審議願います。なお、他の附属機関におきましては、委員名を明記しない会議録の方が多くなっております。以上でございます。

○会長 はい、ありがとうございました。ただいま事務局から説明のあった「会議の公開」について、何かご意見やご質問はございますでしょうか。特に、最後の部分に説明のあった会議録に発言者の氏名を記すかどうかについては、この会議で決めるということになりますので、その点の扱いについてもご意見等あればいただければと思いますが、いかがでしょうか。ご質問でも結構ですけど。一つ私から質問ですが、会議録は、摘録になるのですよね。要点を明記する形になるのですよね。逐一発言した内容を全部記されるのではなくて。

○事務局 議事録につきましては、全部記録します。

○会長 全部。発言内容が全部記載される形ですね？

○事務局 そうですね。

○会長 そのようなフル会議録だということです。いかがでしょうか。まず、前段の公開については、一応市の方の決まり事ですので、このとおりでやっていくのでよろしいですか。ですから、次回以降は会議予定が公開されて、希望があった場合には、傍聴人が入られる形になる、ということになります。次に、会議録への記載

はどうでしょうか。私が会長なので、必ず発言が特定されるようになっているので、どちらでもよいのですが。皆さんの方がどちらがよいかということで、決めていただいたらよいかと。どうでしょうか。

○委員 私個人としては、別に名前を公表されても一向にやぶさかではないんですけども、先ほど事務局がおっしゃったようにですね、私が思いますのは、誰が発言したかではなくて、この委員の中でどういう意見の交換が行われたかが大事だと思っていますので、特に固有名詞は抜きの「委員」という名前に統一されてはどうか、と個人的には思っています。

○会長 はい、ありがとうございます。あの、私もどちらかということ今回は公募委員の方もいらして、わりかし地域に近い立場の方もいらっしゃるの、取り分け近い将来改築が行われる学校に非常に関わるので直接的に利益相反が生じないにせよ、コミュニティに近いところで色々事後に軋轢を生んだりするのは望むところではありません。よって、もし皆さんのご理解が得られるのであれば、今、委員からのご提案あったようなやり方で、委員名を記載せず何が話し合われたかが全部わかる、という形ならいかがなのかと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、そのように進めさせていただきたいと思います。他に今の議題について何かございますか。よろしいですか？

では、この議題はここまでで決定したということにさせていただいて、続いて議題の「(2) 今後の会議等の事前送付」について事務局の方から説明をお願いします。

○事務局 それでは、この議題につきましては、資料はございませんので、口頭でご説明をさせていただきいただきます。次回からは、後程ご説明させていただく議題を中心に審議に入って頂く予定でございますが、テーマの内容によっては、事前に委員の皆様へ資料を送付させていただき、お時間のある委員の方には、お目通しをしていただく場合があるものと考えております。

資料の送付方法については、電子メールで送付が可能な方には、電子メールで送付させていただき、紙ベースの資料につきましては協議会当日、配布させていただければと考えております。可能な限り余裕を持って、資料送付させていただければと考えておりますが、協議会前の直前になってしまう場合も考えられますので、ご了承いただければと思います。なお、電子メールでの送付が難しい委員の方には、事前に郵送にて資料を送付させていただきますので、当日ご持参いただきますようお願いいたします。以上でございます

○会長 はい、ありがとうございます。今事務局から説明のあった今後の資料の事

前送付について、何かご意見やご質問ございますでしょうか。特になければ今ご提案のあったようなやり方で進めるのでよろしいでしょうか。 はい、ありがとうございます。

それでは続きまして議題の「(3)」ですね。「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」について事務局の方から説明をお願いいたします。

○事務局 はい、それではご説明いたします。少し長くなりそうですので、着座にて失礼いたします。

それでは本市の老朽化対策の現状及び及び府中市学校施設改築・長寿命化改修計画の概要等についてご説明いたします。恐れ入りますが、はじめに右上に資料6となっております「学校施設の老朽化対策」をご覧ください。表紙をおめくりいただき、2ページをお願いいたします。

はじめに、一番左の列になりますが、計画作成の着手に先立ち平成26年度から28年度の3ヶ年で市内小学校22校・中学校11校の全33校で老朽化調査を実施いたしました。翌年度の平成29年度から府中市学校施設老朽化対策推進協議会を設置し、令和2年2月に府中市学校施設改築・長寿命化改修計画を策定いたしました。この間に、府中市議会で学校施設老朽化対策特別委員会が設置されたため、同特別委員会に協議会の答申や計画の策定について学校施設課から報告をしている状況でございます。

続いて真ん中の列となりますが、計画作成と並行して、老朽化調査の結果を基に校舎の構造躯体及び意匠設備の状況、校舎の築年数を踏まえ、早期で老朽化対策を実施する学校として、府中第八小学校と府中第一中学校を早期改築着手校として選定いたしました。平成30年度の基本構想の策定、設計者選定を経て、令和元年度から基本計画・基本設計、その後実施設計、改築工事と段階をおって進め、本年2月末に第八小学校、3月に第一中学校の校舎と体育館が竣工し、卒業式は新しい体育館で実施することができました。現在は外構工事を進めており、八小、一中ともに今年度中にすべての工事が完了する見込みでございます。

次に一番右の列になりますが、第二期目の改築校として選定された府中第三小学校及び府中第六小学校については、今年度から改築工事に着工し、来年度中に校舎と体育館が竣工する予定でございます。

続きまして、右側3ページをお願いいたします。このページにつきましては、資料5、「計画の概要版」をご覧ください。それでは、表紙をめくっ

ていただき、1 ページをご覧ください。本市の現状といたしまして、学校施設の 79%が築40年以上経過し、老朽化が進行しています。これは老朽化調査が完了した平成28年度末での数値となりますので、現在は更に老朽化が進んでいる状況でございます。

続いて概要版右側2 ページをご覧ください。本計画における老朽化の対策の手法としては、新しい建物に建て替える「改築」を基本としております。鉄筋コンクリート造の耐用年数を考慮し、できる限り築60年から65年を超過することがないよう老朽化対策を進めています。これは日本建築学会が鉄筋コンクリート造の「物理的耐用年数」を65年、学校施設の「目標耐用年数」を60年と示していることを参考にしたものです。また、学校内には増築により築年数が異なる複数の建物が混在しておりますが、原則として学校全体として改築を行います。建物ごとに老朽化対策を行うと、建物配置に制約があり、工事の制約化、長期化につながる恐れがあるためです。

それでは1枚めくっていただき、概要版3 ページをお願いいたします。老朽化対策の順番として、築年数や劣化状況を総合的に評価し、早期改築着手校、第1グループ、第2グループとグループ分けをいたしました。第1グループのうち、三小・六小以降の学校については、この時点では改築の順番は決まっておりました。

続きまして右側4 ページになりますが、教育環境の充実として、公平な教育環境、学校ごとの独自性、新しい教育ニーズの観点からの対応を定めております。一つ目の公平な教育環境確保に向けた進め方として、本市のこれまでの学校では、学校ごとに普通教室の大きさであったり、諸室の種類・設置数などに違いがあったことから、できる限り公平な教育環境を確保するため、市としての統一的な基準を整備方針として示しました。

続いて2つ目になりますが、各学校にはそれぞれ地域の伝統や文化活動に根ざした学校独自の取組みがあります。例えばですが、早期改築着手校の第八小学校には敷地内に田んぼがあり、稲作と餅つきなどを通じて、地域とのつながりを深めています。このような独自性が失われないよう、各学校改築の基本計画や基本設計に反映することとしています。

また、3つ目になりますが、特別支援教室の整備やICT教育の推進といった新しい教育ニーズに対応することも示しました。

続きまして、1枚めくっていただき5 ページをお願いいたします。地域に求められる役割として、避難所、地域開放、複合化への対応を示しております。1点目、避難所の利用を想定した整備については、整備に当たっての基本的な考え方を示し

た上で、一次避難所としての学校施設の整備方針を定めています。体育館に加え、新たに多目的ルーム・家庭科室・会議室・和室を開放すること、避難者の受付・管理を行えるスペースを設けること、体育館から近い位置に、防災倉庫を設けることなどになります。

2点目、地域開放についてですが、地域の方が学校施設を使用できる区画は、学校教育上支障がない範囲で拡充すること、子供たちの安全が確保できるようセキュリティを確保することを示しています。こちらもお話となりますが、八小では体育館のほか、校舎1階に地域開放を想定した部屋をまとめて配置し、物理的に教室や職員室などのエリアと隔てることのできるよう設置、設計をしています。

3点目、学校施設の複合化でございますが、学校の敷地内に、学校以外の施設や機能を設置することを指しますが、当面は、学童クラブを校地内に設置することと、放課後子供教室専用の実施場所を確保すること、また将来的には、児童生徒数が減少した場合に他の公共施設との複合化を検討することを示しました。実際に八小では体育館に学童クラブと放課後子供教室を併設する形で建設をしております。

続きまして右側6ページをお願いいたします。整備方針の作成について、本市が目指すべき学校施設のあり方を踏まえ、改築を進めるにあたっての整備方針を定めました。前回の協議会で時間をかけて検討していただいた部分となりまして、各学校の設計を行う際の基となる方針となっております。

概要版を1枚めくっていただき、最後7ページをお願いいたします。学校施設の整備スケジュールと費用になります。1校当たりの改築に係る整備期間を、設計2年、工事2年の4年間と設定し、令和元年度から令和32年度までの32年間で整備していく計画でございました。こちらの下段になりますが、整備費用につきましては、築年数の浅い第十小学校、第三中学校、第五中学校を除く30校の改築費用の総額を1,370億円と設定しております。

恐れ入りますが、始めの資料6の方にお戻りいただければと思います。今、概要版でご説明させていただいたのが、3ページの部分となります。それではページをおめくりいただきいただきまして6ページから9ページにかけてでございますが、計画と実際に完成した学校の写真を並べて掲載させていただいております。ご覧いただけましたらと思います。6ページにつきましては普通教室、7ページがメディアセンター、こちらいわゆる図書室になります。8ページでございますが、校務センター、こちら職員室のことでございます。9ページが学校経営ルーム、こちらが校長室になります。

続いて10ページをお願いいたします。こちら先ほど概要版でご説明させていただいた避難所としての利用についての発生の実際に利用した整備した内容を記載させていただいております。

それでは続いて右側11ページをお願いいたします。こちらには老朽化対策の進め方を示しております。計画を作り、実際に改築を行い、改築後の評価分析を行い、計画を見直して更新していくというPDCAサイクルを記載させていただいております。

続きまして、12ページをお願いいたします。令和4年12月に公表した学校施設の整備スケジュールの見直しについての考えになります。八小・一中の改築費用が想定以上に増加しており、今後も同様に改築事業を進めた場合、計画で定めた総額1,370億円を超えてしまうことが懸念されます。このことから、改築事業を一部休止し、計画の改定後に再開するよう、整備スケジュールの見直しを行うことをこのとき決定いたしました。八小、一中、三小、六小に続く第三期目の改築実施校を一度は選定し、昨年度設計者の選定を進めようとしていたところですが、この度の計画の改定を行う中で、校舎等の築年数や児童生徒数、学校適正規模・適正配置検討協議会の検討状況などを踏まえ、改めて改築実施校の優先順位を検討した上で、令和7年度以降に改築事業に着手する予定としております。

本協議会におきましては、改築を行った八小・一中について評価・分析した上、教育環境面の充実や、改築事業費の抑制につながる方策を検討していただくこととなります。

資料6につきましてご説明は以上となりまして、続いてでございますが、資料7をご覧くださいければと思います。こちら府中市の学校施設整備に影響する最近の動向を記載しております。いくつか取り上げさせていただきます。

はじめに、平成28年度でございますが、公共施設マネジメントの観点から「学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針」により、屋外公共プールは市民総合プールと美好水遊び広場に集約し、学校プールの開放を検討する方針が示されています。令和4年度の黒ポチ4つ目にあります、「第2次府中市スポーツ推進計画」においてもこれを踏まえて検討を進めることとしており、第十小学校、第十中学校で学校プール解放を夏休み期間に試行実施しております。

続きまして、令和2年度でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の臨時休業措置などの影響を受け、学校においてICT環境の整備が急速に進みました。学校施設改築・長寿命化改修計画では、先ほど写真をご覧くださいましたが、メディアセンター内にももとはコンピュータ室を設置す

ることとしていましたが、八小・一中では改築需要を進める中で、1人1台のタブレットが行きわたったため、コンピュータ室を取りやめ、調べ学習室という名称に転換しております。

続きまして令和4年度でございますが、令和4年度の下から2つ目でございます。本市は2050年までにCO2二酸化炭素実質排出ゼロを目指すことを表明し、本年度令和5年度になります。府中市ゼロカーボンシティ実現に向けた課題と将来のイメージを公表し、2030年目標として、「公共施設に設置可能な範囲で太陽光パネルを設置」することとしております。その下になります。第3次環境基本計画においても、「学校や市の建築物においては、省エネルギー化を進めるとともに、施設のZEB化を推進することとしております。

最後に令和4年度が一番下になりますが、本市の不登校に資する取組として全小中学校にサポートルームを令和4年度中に設置する方針が決まり、空き教室や相談室をサポートルームとして利用している状況でございます。

このような動向を踏まえ、計画の見直しについてご審議していただくこととなりますので、本日このような状況を共有するためにご説明をさせていただきました。説明は以上でございます。

○会長 はい、どうもありがとうございました。かなり纏まった内容でしたが、ただいま事務局の方から府中市学校施設改築・長寿命化改修計画についてということで資料の4から7までの資料を説明していただきましたけれども、これらについて、ご意見ご質問があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

恐らく皆さん持ち帰って次回までに読んでいただく部分もあると思いますが、現時点でもし何かお気づきの点やご質問等あれば伺えればと思います。いかがでしょうか。

○委員 ご説明ありがとうございました。資料6の一番最後のページ、11ページでございますが、この施設整備の改築費用が想定以上に高騰したということだったんですが、主要の要因というのがわかっているのであればご紹介いただければありがたいのですが。

○事務局 はい。この12ページの方方にも記載をさせていただいているところでございますが、建築資材の高騰に加え、防災面であったり、環境面などの新しい学校に求められる役割、機能に応じた整備が必要になったことから、計画当初の金額よりもだいぶ想定より増加してしまいました。

○委員 環境面というのは、具体的にはこういった対策を講じてそれが想定以上に

なってしまったのかなと、少し補足いただけるとありがたいです。

○事務局 計画の段階ではですね、直近で改築を実施しました第十小学校を基準に計画を立てて進めていたところですが、その時に比べましても、防災面ですと、体育館の大きさ、避難者の受入れを多くするため体育館の大きさが大きくなったりですとか、非常時に利用できるガスバルクなどの整備のこと、また環境面で申しあげますと、太陽光を以前よりも多く載せているような形を取りましたのでこの金額と増減の幅が増えているということでございます。

○委員 何度もすみません。環境面で予算が想定以上にかかっているというのは太陽光パネルだけが原因でしょうか。

○事務局 環境面につきましては、太陽光発電に加えて、例えば蓄電池を新しい学校では初めて搭載しております。また建物につきましても、建物の断熱遮熱性能を高めるためのガラスの利用をしたりとか、施設全体的に断熱性能遮熱性能を高めるような取組みを進めているような状況でございます、これまで計画策定で想定していた部分につきましては、10年前に作った学校を基準にしていまして、そのところからだいぶ建築単価についても高騰しているのではないかと考えているところです。

○会長 私が補足するようなことではないかと思うのですが、早期着手校、それから今動いている最初の2校の設計者選定のお手伝いをさせていただいたのでその時の感想を申しあげると、環境面の取組みについては、現代において求められることがたくさんあって、かなり最初の2校については設計事務所さんの方もモデル的な取組みになるように先進的な取組みを提案していただいて、それが盛り込んだ形で提案書が提出されて、設計者を選定したという経緯でした。設計者選定は、あくまで案を選ぶのではなく、一緒に設計をしていく、改築を進めていくためのパートナーを選ぶということで設計者を選んでいくのです。ですが、恐らく最初に提案されている内容が基本設計に入っていた段階でも継承されており、どこかの段階でコスト面も加味して、それらを府中市の学校に相応しい形で取捨選択して最適化していくプロセスが必要なのだと思うのですが、残念ながら前回の改修計画の方ではこういう優先順位でやりましょうとか、これは必ず採用しましょうとかこれは無理をしてまで採用する必要はないですね、というような詳細な方針は環境面では書き込んでいなかったのかなということかと思えます。そうすると、どうしてもフルスペックで設計に盛り込んでしまうと、当然ながら工費は膨らんでいくのはごもったもな話なので、今回の改定にあたって委員はたくさん知見をお持ちだと思いますので、その辺りについてもご意見をいただければと思います。また恐らくは、初期コストをかけた結果、そのあと長い期間において省エネができランニングコストが抑

えられたりということもあります。また、逆に場合によっては入れ替える段階で廃棄物がでたりという事もあるので、その辺も加味して府中市として学校、教育環境として何を優先して設置していくのか、何を無理に追求しないのか、そういうあたりの議論もできるといいなと思っております。特別な方向づけするわけではありませんが、個人的に関わった感想として皆さんに共有できればと思っております。

○委員 ご説明ありがとうございました。私の方からはまずかなり学校に関連した教育じゃない部分、教育本体でない部分、例えば避難所の問題とか地域開放とか非常に学校というのはコミュニティの拠点として大事ですし、それ自体は全然問題ないと思うのですが、それに関連した、考え方によっては学校教育委員会の方が子供の教育の場としての施設整備ということで予算を算出されていると思うのですが、場合によっては避難所だったりとか地域開放だったり、それに伴う複合化とか教育委員会本体じゃない方の予算とがっちゃんこするというか、そういう考え方もあるんじゃないかなと思って聞いておりました。それと同時に今話題になりましたけど、特有性、例えばここはリスクが高いから避難所としては必ず立ち上がるから周辺の方々のニーズを踏まえたマネジメントも一緒に考えた設計をしていきたいと思いますという学校があったり、場合によってはもう少し違ったところに起点をおいた方がいいという話になったりという、地元側のニーズというかそういうことについて、例えば地域の方とコミュニティを共有したり保護者の方だけでなく地元の在住の方々、特に避難所運営では地元のそういう方々だと思しますので、そういう方々の意見を創出してまとめるような機会が過去の計画の中ではあったのか、地域コミュニティの一点一点に対してどういう進め方にするのかというのが二つ目、もう一つは小学校と中学校が対象になって進められていますけれど、国の方で進めている幼保少連携の関係からすると、小学校の側にある幼稚園保育園の子供達が通っていくことを想定した地域活動ですとか、小学校中学年の学びの一貫性みたいな、幼稚園保育園と小学校の接続プログラムみたいな話も動き出していると思うんですけど、そのあたり府中市はどういう動きになっているのかというか、学校を取り巻く環境に関してはあまり明るくないので、もう一度ご教授いただければと思います。

○会長 今の点について事務局いかがでしょうか。

○事務局 まず1点目の改築費用の関連でございしますが、改築費用が増加している中の要因としては、防災面ですとか複合化によるものであったりとか、たしかに他部署の所管するような要因で増加しているようなこともございますので、その点は八小、一中で以前改築した十小と比べてどこが増えているのか、どの部署が増えているのか検証して、今後予算額含めて検証していきたいと思っております。

2点目の避難所の関係ですが、学校を改築する時に、早期着手校である八小と一

中がそうだったんですけど、新しい学校づくり検討委員会というものを立ち上げて地域の方を委員として構成していく中で、防災関係者、避難所の運営委員会の方であったり、防災の専門家にも委員としてご参加いただいていたので、そういった方のご意見を反映させた設計となっておりますので、今後の学校についても各学校で検討委員会を立ち上げて、それぞれの分野の方からご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。

3点目でございますが、幼稚園保育園から小学校の接続プログラムなんですけども、これまでの計画で申しあげるとあまりその部分が議論できてなかった部分でございまして、学校を卒業した方々がどれだけ学校に還元していただけるかですとか、成人の方向けに学校開放をどうやって進めていったらいいかの議論はしてきたのですが、今後は小学校の周りにある幼稚園保育園などの位置をきっちり調べまして、幼保小一体となった教育を進めていければと思っております。

○委員 新しい学校検討委員会はどれくらい前に動き出しているのでしょうか。タイミング的には基本計画か、基本設計か。例えばですね、第八小の場合ですと、どれくらい前に動き出したのでしょうか。

○事務局 八小のケースですと基本計画が始まるころから設置させていただいております。基本計画から基本設計の期間で検討会の方を開催させていただいております。

○委員 何年間くらいでしょうか。

○会長 資料6の2Pを見ていただくと、八小、一中タイムラインが載っておりますので、恐らく着手校を選定して設計者を選定し、基本設計に着色する、この段階で立あがっていますよね。

○事務局 はい。

○委員 平成30年、1年なんですね。

○事務局 令和元年度から2年間でございます。

○会長 私の方から少し補足して前回の計画策定から携わらせていただいた立場から情報を共有させて頂くと、府中市の計画では、本来は学校施設の計画なので、学校施設計画ことをだけを書いていけばよかったのですが、それ以外の事柄にもか

なりの頁数を割いているのが一つ特徴ではないかと思います。概要版の中でも資料の5の概要版で、②で教育環境について供述ということで、教育施設について関わる事が書かれていますけども、その次にある③の地域に求められる役割、こちらの部分も前回の協議会でかなりの時間を議論させていただいて委員の方々の意見を反映した形で地域の核として小学校、中学年を整備して行きましょうということで記述しています。当然ながらそうするとコミュニティの中心としても使われるし、災害時には重要な役割を果たすでしょう。その時に地域の様々な方々がきちんと受け入れられるように支えられるように、できることは備えておきましょう。その時にもしかしたら小中学校の整備だけやっているなら、やらなくていい事もかなり背負いこみましょう、ということも書いたのですね。もしかするとこのことは先ほど話題になった総事業費が若干増えたことの原因の1つになっているのかも知れません。ただ、私の理解では前回の計画を策定するにあたって、議会の方で特別委員会というのができてそちらの方がかなり議論されたというふうに理解しておりますし、その中で1,370億円で30校を改築していくということで議会の方も中長期的な予算支出を合意されたのだと理解しております。もしそのことに関して当時の議論などでどういう位置づけをしていたのか、教育委員会の方で持たなきゃいけないことでないものをここで学校施設の改修に背負いこんでいるので、本来なら少し市町村の方で持ってよ、という話になっても不思議ではないんですが、その辺りについて補足してもらえませんか？府中市の場合中核市で、市として丁度いい一体感、丁度いい規模感で、このような施策を一緒にやっていく体制の可能性もあるように感じるのですが、その辺の可能性をどう見るか、今までの議論やその継続的發展としてあるものですので、現時点での状況で共有した方が良いという情報等があれば教えていただけますでしょうか。

○事務局 今会長からご説明いただきましたとおり、前回の計画につきましては、新しい学校に求められる機能としては単なる学校を整備することだけでなく地域の人に活用される学校であることと、そういったことを踏まえた機能を有した学校を作ることをテーマに改築計画を作らせていただいております。そういったことも新しい取り組みを含めた中での1,370億円事業費の設定をさせていただいているんですけど、新しい取り組みだったということもありまして、先ほどお伝えした10年前に建築を行った第十小学校からの建設費との乖離が大きく、それに準じた建築コストを総事業費として設定しておりましたので、それでだいぶ差ができたという状況で、今回はその部分の環境面とか防災面についても精査をしていただきたいと思っております。今回作っているのは子供のための学校というのが主軸にあると思いますので、そういったところが他の機能を整備することで、教育面で整備が劣るというか、少し必要な整備ができないという事に繋げることはできないと教育委員会には思っておりますので、新しく求められる機能とコスト面は少し切り離して考えた方が良いのではないかと、というところ含めていろいろご意見を頂戴できればと

思っております。そういったところを含めましてここ様々な公共施設として求められる機能ですとか、変化に応じて出てくるかと思っておりますので、新しい視点についても皆様からご意見をいただければと思っております。

○会長 ありがとうございます。

○委員 質問です。前回会議に参加させていただきまして、整備方針について皆で色々議論した記憶があるのですが、今回検討するにあたってこの整備方針を踏まえた形で行くのか、それとも一回これは置いておいて積み上げていくのかというところが私の中では今は分からなくなっています。予算の関係とかもあるんですが、市の総合防災訓練は必ず会場は市内の小中学校でそこに必ず要配慮者向けの避難場所を設置して、避難所開設訓練もしているので、現在の府中市の認識としては、小中学校は重要な避難所としての機能を求められている、という認識なんです。そうなるとういった地域のコミュニティとしての役割を切り離した形で施設整備が今の私の中では考えられないので、前回の整備方針というものを踏まえて優先順位を考えなければいけないと会長も仰っていたように、そこが今回の議論の一番の肝になるのかなというふうに私自身認識をしているのですが今一度確認させていただきたく発言しました。

○会長 事務局は今の点、いかがでしょうか。

○事務局 先ほど私がお答えした時にわかりにくい表現になってしまったのですが、教育環境として求められるものと、新しく公共施設として整備してきたものと切り分けというお話をしてしまったのですが、あくまで予算的な切り分けという表現を使わせていただきまして、基本的にはこれから学校整備をしていくものについては今求められている機能は変わってませんし、新しく公共施設に太陽光パネルを設置していきなさいとか、そういったことも含めて考え方が新しく出てきていますので、更に付加されていることも出てきておりますので、そういったベースは変わらない、前回の整備方針につきましても今回八小一中の改築が終わったことでこの計画を改めて見直せる時期にきていますので、そういった仕様とかそういったところについても資料提供させていただいて、見ていただいたなかで例えば修正を加えた方が良いのではないかというご意見がありましたら、その中で行っていただければいいのではないかと思います。

○会長 ありがとうございます。恐らくもう既に供用開始している2校と、現在改築している2校との継続性もありますので、前回からの計画を一回チャラにするというわけではないです。今日教育長からいただいた諮問も改定素案の作成ということですので、前回議論したことは既にあって恐らく教育施設として基本的な部分は

削るわけにはいかないのです、それが第一優先です。その次に前回も議論して地域の施設として引き受けようというのは府中市さんの方で前向きに考えているのはあり続けるのですが、多分あれもこれもという訳にはいかないのです、今回は少し高い水準を議論して、どうしてもきちんと整備すべきところ、場合によっては学校の特徴によって、例えばハケ下の学校であれば整備するもの、そういった仕分けや優先順位付けの議論について少し精度を上げて行えるといいなと思います。その他いかがでしょうか。

○委員 あけすけな質問で大変申し訳ないのですが、今回の会議の議論で疑問に思っているのは、結論からいいますと、コストが実現可能性を帯びていないからってというのが原因だと感じるのですが。建築資材が10年程前とは比べものにならないくらい上がっていて、人工も桁外れに上がっている。けど負担軽減の関係で職人さんは休まなくてははいけない。そうすると人工は上がって工期が延びていくと当然事業費は増えていくだけで減ることはまずない。むしろ桁外れに高くなる可能性出てきているので、そこが大きいのか、元々事務局が想定していたのより、今日の議論のように中身をもっと絞っていかなくてははいけない、機能をもっと絞っていかなくてははいけないと思っているのか。それによって議論の方向性が大きく変わってくるような気がするのですが、事務局としてはどちらのポイントの方が想定外に大きかったかお聞かせいただきたい。今日は第一回目なので会議の主旨とは違うかもしれませんが府中市内の学校全体のどれだけの順番で作りますか、という議論をしていくには非常に大きな岐路になりますので簡単にお教えいただけたらありがたいです。

○事務局 池澤委員のおっしゃるとおり、労務単価であるとか資材の高騰というのは大きなウェイトだと思っております。ただ学校だけではなく全国的に上がってきておりますので、そこはしっかりと我々も当初計画したものからコスト的なもの資材や労務単価を抑えながら今やっているところですので、また改めて評価していきたいと思っております。一方で公共施設に求められる機能は計画を作った段階よりも更に大きなウェイトなっています。昨年私どもと府中市がゼロカーボンシティを目標としているところから、今後学校の施設としての設備、更に中身を上げていく、例えば太陽光ですとか様々なところにチャレンジしつつ、でっこみひっこみあるかと思うのですが、そういったことはしっかりやっていきますし、また今回八小や一中でやりましたけれども、国内産の日本材を使っているとかのカーボンニュートラルの取組みを含めて今後もやっていきたいと思っております。デザイン性ですとか様々な観点はあると思うのですが、今回の協議会の中でご意見いただきまして、やっていきたいと思っております。先ほどお話いただいている教育委員会と市本体の折り合い、予算含めてのところですが、その他求められているものは、合築ですとか老朽化している他の施設もございまして、どの部分を市の学校の中に取り込

んでいくのか、そういったところも市単位で取り組んでいけたらと思います。

○会長 よろしいでしょうか。後々議題に出てくることかもしれないのですが、今回早期着手校の2校は仮設校舎を設けて、仮設校舎にお金をかけたうえで今取り壊しています。現在進行している小学校の片方が仮設校舎を設けず空いている部分に校舎を建てている。一中の建て替えのプロポの時に現地建て替えという仮設を設けずに提案されている方もいらっしゃいました。このようなことも今後どう考えていくか。仮設校舎というのは、いずれ解体してかかるコストを捨ててしまうのですが、そこにコストをかけると配置を変えずに建てられる。これが必要なコストなのか、できればセーブした方がいいのかっていうのをこちらの協議会で少し議論した方が良いでしょう。やはり地元の方からすると校舎が入れ替わるのは結構抵抗感があると感じましたので、地域の方々がどういうふうを考えられているのか聞いてみたいと思っています。次回見せていただく八小体育館の上にはプールがあります。このために体育館の建設にはそれなりのコストがかかっていると思います。そういうものも合理的な方法がないのか、もう少し合理的な工夫をしてコストを抑える、そうでなくて、コストをかけるものの中でもどうしても整備したいものと、条件を整えれば整備したいものを仕分けて整理する議論も必要だと思います。これらも前回よりはもう少し精度を上げてできるというと思います。他、いかがでしょうか。

○委員 もう一つ質問です。検証されるという話なんですけど、これは費用対効果的なところは短時間なのでどれくらいのことができるか分からないんですが、何よりも子供達がどういう変化対応しているか、一年生が三年生になるみたいな、ずっと教室の前後を見ている子は少ないと思いますが、現状の子供達がどのように変化しているか、やはり教室が変わったり新しい環境になっていて、環境がきれいになったトイレが綺麗になったとかそれは当然なんですけど、地域の方々が入りやすくなったので顔がわかるようになったりとか、避難訓練みたいなものが地域の方々と動きが一緒にならないと宝の持ち腐れになっていくわけなんですけども、そういうような機会を目にする、チャンスが増えていくだとか子供達の変化とか先生方が子供達に寄り添うように目が行き届くように、教員間の風通しが良くなったとか、その辺りの検証はやられる予定はございますか。

○事務局 改築校を使っている子供達にヒアリングは現在も進めている状況でございます。新校舎を使い始めて3ヶ月ちょっと、4ヶ月目になります子供達の意見、先生の意見を聞いている状態でございます、地域の方々の意見も聞いていければと思っております。

○委員 スケジュール的にはどのタイミングでここに上がってくる可能性があるのでしょうか？

○事務局 コスト含めまして八小、一中の分析をしております、第3回、4回の年内の協議会の方でお示しさせていただけたらと思います。

○委員 わかりました。

○会長 よろしいでしょうか。その他何かございますでしょうか。今までご意見をいただきましてありがとうございます。府中市の改修計画については目を通していただいて次回以降も議論の土台として参考にしたいと思います。一点だけ、先ほど三輪委員から指摘のあった、幼保小連携の件ですけど、以前いくつかの市内の学校の位置とか分析するマッピングをしてもらいましたけど、別のマップとして学校の位置と幼保少連携をする時のどこにどういう施設があるのか、リソースが、位置関係が分かるようなマップを今後の資料の検討の中に作っていただくのもいいかもしれないですね。

○委員 ハザードマップみたいな。

○会長 ハザードマップは既にあるので、配布していただけるのであれば、配布していただきます。それに情報を追加してオーバーレイするようなイメージですかね。

○事務局 次回以降に対応させていただければと思います。

○会長 それでは次の議題に進めさせていただきます。議題の「(4) 今後の開催スケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは説明いたします。恐れ入りますが、「資料8 協議会の今後の開催予定」をご覧ください。はじめに、協議会の開催回数でございますが、令和6年7月の最終回の会議まで、全10回の開催を予定しております。今年度については、今回を含めて6回、来年度については4回の開催を予定しております。

第2回の会議については、8月22日（火）午前11時30分から、府中第八小学校の会議室で開催する予定です。会議の開催に先立ちまして、改築を行った府中第八小学校・府中第一中学校の視察を有志で行います。視察の集合時刻・場所など、詳細は第2回の開催通知に同封いたしますので、ご確認ください。第3回目以降の開催日時につきましては、委員の皆様のご都合の良い曜日、時間等をお伺いしたうえ、早めにお示しします。

続きまして、主な審議内容につきまして説明いたします。今後、テーマの追加・

変更等がある場合もございますが、資料では概ねの予定をお示ししております。第4回までを第一期改築実施校である府中第八小学校及び府中第一中学校の評価・分析を行います。近年の動向をふまえて現状の課題を整理するほか、八小・一中の建築費用が妥当であったか、他自治体の学校改築事例と比較しながら評価・分析を進めます。

この評価・分析をふまえ、第5回以降で、教育環境面の充実や改築事業費の抑制につながる方策を明らかにしていく予定です。市長の附属機関の一つである「府中市学校適正規模・適正配置検討協議会」が、学級数の少ない小規模校・学級数が多い大規模校を適正な規模にする方策を審議しているところですが、この協議会の答申が令和5年12月ごろ出される見込みですので、本協議会でこれをふまえた対応を検討することとなります。今後の学校改築に当たりどのような対策を講じればコスト面やスケジュールにどう影響するか、いくつかの案を出してシミュレーションし、学校施設改築・長寿命化改修計画の改定素案作成につなげていく予定です。

○会長 よろしいでしょうか。事務局から説明のあった「今後の開催スケジュール」について、ご意見やご質問はございますか。見ていただいているとおり、かなりの頻度で委員会を開催するというので、皆さんお忙しい中日程調整されていると思うのですが、ご協力いただければと思います。今後の開催スケジュールについては事務局案のとおり進めさせていただきます。最後に、「7 その他」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、事務局から3点につきまして、お願いがございます。まず1点目でございますが、8月15日号の広報ふちゅうに、この会議の委員選任に関する記事を掲載いたします。お名前のほか、学識経験者の方は所属等を、公募市民の方はお住まいの町名を掲載いたしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

続きまして、2点目は、次回以降の会議の開催日時の調整でございます。先ほどの議題でも説明いたしましたとおり、今後は2か月に1回程度の開催となります。皆様のご予定も多々あるかと存じますが、次回会議につきましては、8月22日(火)を予定しております。第3回目以降に日程については、次回以降に改めて調整させていただければと存じますので、ご了承ください。

最後に、3点目は委員の皆様の個人番号の確認でございます。開催通知でご案内させていただきましたとおり、マイナンバー制度に則った「番号の確認」及び「身元の確認」が必要とされております。こちらも会議終了後に職員が確認をさせていただきますので、お手数をおかけいたしまして誠に申し訳ございませんが、ご協力

くださいますようよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

○会長 事務局から説明のあった「その他」について、ご意見やご質問はございますか。その他ですので、議題に以外の質問、ご意見あればいただきたいと思います。無いようですので、これで本日の第1回学校施設老朽化対策推進協議会を終了させていただきます。長時間にわたり、お疲れ様でございました。なお、先ほど事務局から説明がありましたとおり、この後に、マイナンバーの確認を行うとのことです。よろしくお願いいたします。これで終了させていただきます。ありがとうございました。